

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第14号

nanae historical
museum collection



ななえ古写真物語

VOL. 14

大沼の氷切り

～大沼駅ヨリ氷輸出ノ景～

明治末～大正初期

現 大沼駅

今年の2月7日・8日に開催された第43回「大沼函館雪と氷の祭典」には、皆さん参加されたでしょうか？残念ながら行くことが出来なかった方も、ジャンボ滑り台は、3月10日ごろまで、滑れるようですので、是非、訪れてみてはいかがでしょうか？ところで、この雪と氷の祭典には、大沼から切り出した天然氷が約3000枚も使われているといえますから、氷を切る人も大変だったのではないかと思います。しかし、大沼・小沼などの湖があるおかげで、こういった祭典ができるというのも、七飯町の良いところなのかもしれませんね。

ちなみに、この大沼では昔から氷を切り出して売っていたといわれますが、厳密に何時から始まったかは不明（私の勉強不足のため）です。ただ、明治初年に設置された開拓使の農業試験場である「七重官園」の施設図面に氷室があったことが記されているので、氷切りの歴史は、少なくとも明治10年代まで遡れるだろうと想像しています。残念ながら、現在は商品として氷を切り出すことはなくなったようですが、「氷切り鋸」や「罫引き」、切り出した氷を持ち上げて運ぶ「氷挟み」などは、当館の常設展示室で見ることができます。

さて、前ふりが長くなりましたが、上の写真は、大沼駅から氷を搬出している様子を写したもので、大沼から切り出された氷が、線路と平行するように並べられ、それを10人程の人達が、氷挟みを使って列車の貨物部分に積み込んでいるという風景です。

この写真は恐らく、明治末から大正初期に写されたものではないかと考えています。その理由として、写真の解説に「大沼駅ヨリ氷輸出ノ景」と書かれていること、少し説明を加えますと、明治36年に函館～小樽間に線路が敷設され、列車が走るようになりましたが、大正9年に現在の大沼駅は「軍川駅」へと改称し、昭和39年に再び「大沼駅」になりました。ですから、少なくともこの写真からうかがえる建物・服装の古さから考え、大正9年以前の様子であると判断できます。ちなみに、積み込み作業をしている人たちは、過去（ピチャリ第9号）に紹介した宇喜多農場関係の人であることがわかっています。

冬の風物詩だったこのような風景を一度も見る事が出来なかった私でも、この写真のおかげで、往時の様子を想像できる・・・そんな1枚の紹介でした。

14日

夜の博物館後期講座の第2回目が開催されました。この日は「古道にみるななえ」と題し、当館で収蔵している江戸時代に描かれた絵図や古写真をみながら、今は使われなくなった古道などを紹介しました。

特に、本物の絵図は普段見ることができないものなので、興味津々にみている方が多かったようです。皆さん、寒い中、夜遅くまでご苦労様でした。



江戸時代に描かれた絵図をみる

31日

この日は、ジュニア探検クラブで、竹スキーと雪像づくりに挑戦しました。竹スキーは、門松に使った大きな竹をなたで割り、彫刻刀でうすくした後、熱湯につけて、曲げました。

午後からは、雪像づくりです。コンテナに雪をつめ、踏み固めてブロックにし、それをつみあげてから、削って像にします。残念なことに雪が少なく、大きなものは作れませんでした。力作ぞろいでした。



割る!!



できたあ!



資料整備をしています!!

1月19日から、20年度に寄贈いただいた資料の整理を行っています。

今年は、寄贈資料のほかにも、学芸員が気まぐれで採集した(?)ものも多く、手間どりそうです。ひとつひとつクリーニングした後、写真撮影をして大きさを測ります。最後に、資料番号を注記して、データを入力する・・・。地味な作業ですが、こういった作業を経て収蔵した資料が、「展示」という形で、皆さんに紹介されます。いつか会う日を楽しみにして下さい。



入念なクリーニングを・・・

編集後記 ~tawagoto~

暑さと寒さに弱い私にとって、地球温暖化が進んでいるとはいえ、最近の寒さはこたえるものがあります。でも、時がゆっくりと流れているかのよう、静かに降り注いでくる大粒の雪は大好きなので、外を眺めたりしていたら、帰るころにはドカ雪になっていた。なるほど、帳尻はこのようにして合うんだ・・・と、帰宅する為に車に積もった分厚い雪を貧弱なスノーブラシで落としながら、やるせない笑いがこみ上げた。(やまだひさし)

3月の予定

1	日	冬の探鳥会
2	月	
3	火	
4	水	夜の博物館
5	木	
6	金	
7	土	パネル展 OPEN予定
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	ジュニア探検クラブ
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	パネル展 CLOSE
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

3月の休館日はありません。

ひながざり設置!

よるず会のみなさんが、常設展示室にひな人形を飾ってくれました。明治・昭和初期・昭和中期の人形がありますので、是非ご覧ください。(Y)



Picharr

～ピチャリ～

第14号

平成21年2月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp